

令和6年度 第1回 吹田市立図書館協議会(会議録要録)

開催日時:令和6年(2024年)7月11日(木)午後2時~4時

開催場所:吹田市立中央図書館4階集会室

出席委員:瀬戸口会長、日置副会長、澤井委員、久保委員、飯田委員、岩本委員、清水委員、山口委員、上村委員、領木委員、

事務局:大平中央図書館長、桑名参事、添田主幹、栗生主幹、牧瀬千里図書館長、梶原江坂図書館長、澤井さんくす図書館長、佐野千里山・佐井寺図書館長、長尾健都ライブラリー館長、迫田山田駅前図書館長、伊藤千里丘図書館長、栗田北千里図書館長

傍聴者:4名

I 令和6年度第1回図書館協議会次第

1 新委員紹介

2 第11期吹田市立図書館協議会について

3 「令和5年度(2023年度)吹田市立図書館点検・評価報告書(案)」の作成について

4 報告事項

(1) 「令和6年度(2024年度)吹田市立図書館の目標」について

(2) 「令和6年度当初予算について」

(3) 吹田市立図書館の報告事項

(4) 吹田市立北千里図書館(まちなかりビング北千里)令和5年度事業報告について

5 その他

(1) 次回日程について

(2) その他

II 会議要録

1 新委員紹介

(新任委員挨拶)

2 第11期吹田市立図書館協議会について

瀬戸口会長: 今期の取り組みについて、図書館に関連する事項で重点的に取り組みたいテーマ・事項があれば御発言を。

日置副会長:吹田市立図書館の目標の中の サービス方針2 バリアフリー読書支援サービスについて、図書館での障がい者サービスだけでなく、図書館の利用に障がいのある利用者への取組を教えてほしい。

岩本委員:バリアフリーサービスについては、吹田の図書館はある程度すすんでいる。シニアに向けたサービスについて取り上げてはどうか。

瀬戸口会長:サービス方針9 子どもの読書活動支援サービスについて、サービス方針8 児童サービスとも関わって、電子書籍を提供することも重要ではあるが、本当の意味での読書活動を吹田市として学校教育と連携しながらいかにやっていくのか。図書館からの取組や方針について、お聞かせいただきたい。

3 「令和5年度(2023年度)吹田市立図書館点検評価報告書(案)」について (事務局説明)

久保委員:ブックスタート事業について、絵本の配付率が80%に満たないということだが、その理由を教えてください。

添田主幹:市によって絵本の配付方法が異なっており、吹田市は図書館に取りに来ていただいている。4カ月検診、9カ月検診のお知らせに案内を入れるほか、市報でも広報しているが、図書館から遠方の方などは受け取りに来にくいということが原因ではないかと考えている。

久保委員:図書館に来ていただかないと絵本が渡せないのか。他のどこかで配付する機会があるのか。

添田主幹:現在は図書館での配付となっている。保健センター、児童センターで見本は見ただけのようにしている。出張赤ちゃん会や出前講座では、配付できるように必ず職員が絵本を携えている。

上村委員:サービス方針3の中の、次期図書館電算システムは現在のシステムとどのように変わるのか。

栗生主幹:現在は「すいた電子図書館」のサイトと図書館で所蔵している紙の資料のサイトは別になっているが、一緒に検索できるシステムを考えている。

もう1点は、利用登録についてインターネット上で完結できるようなものを考えている。

瀬戸口会長:サービス方針9で学習用端末における「すいた電子図書館」の利用について、コンテンツを増やしたが、貸出や閲覧数の増加につながらなかったとあるが、どういうコ

コンテンツを増やしたのか。また、増えなかった理由が PR 不足以外に何かあるのか。

桑名参事: 子供向けの電子図書は、「読み放題パック」を購入した。読み放題パックは複数の方が同時に閲覧できる。ただしシステム上、統計数値がとれず、貸出・閲覧数が増加していないことに若干影響していると考えている。昨年度は1人1台の学習端末での利用開始初年度で、学校で利用説明の取組をしていただき、利用促進につながった。引き続き機会をとらえて、PRしていきたい。紙の図書と電子図書の検索が1回で出来るようになれば、相乗効果で貸出数も増えていくのではないかと考えている。

岩本委員: サービス方針1 資料と情報の提供について、国会図書館レファレンス協同データベースの事例登録は令和5年度はどうだったのか。

迫田館長: 国会図書館レファレンス協同データベースへの事例登録は引き続き行っている。令和5年度の登録数は4年度より少し増加した。

添田主幹: 国立国会図書館から、吹田市立図書館の登録事例の閲覧数が一定数を超えているということで昨年度、賞状をいただいた。

日置副会長: サービス方針1 資料と情報の提供の目標4番目、「蔵書の適正化を図ります」について。他の内容はすべて説明の記述があるが、蔵書の適正化のみ内容説明が資料の中に書かれていない。

迫田館長: 追加記載する。

日置副会長: サービス方針2 バリアフリー読書支援サービスにある障がい者サービス利用者懇談会は、登録されている利用者に個別に電話をしてそれぞれ対話されたということか。

佐野館長: 以前は集まったの利用者懇談会を実施していたが、コロナ禍で開催できなくなり、職員が利用者に個別に電話をするというスタイルに変更した。

日置副会長: サービス方針5 特色あるサービスの指標のところでは目標と実績の間にはかなり大きな差がある。今後もこの位の数字でいきそうなのか。

長尾館長: 健康医療情報サービスが多いことについては、健都ライブラリーで指定管理者と共催で30回講座を開催したことによる。今年度も同程度の回数開催を予定している。

日置副会長:目標を著しく上回る状態でずっと続くのか。

長尾館長:指定管理者との共催でなりたっている数値。今後も続けていけるように、指定管理者と講座を行っていききたい。

日置副会長:目標数値を上回るのは良いことだが、あまりに数値がかけ離れている。

大平館長:サービス方針5の中に4つのサービスを含めており、各サービスを年に1回実施という目標数値を設定している。就労・就業支援サービスは実績がなかったが健康・医療情報サービスについては、大変活発に活動しており、評価を A とした。就労・就業支援サービスについては、次年度以降、頑張っていきたい。

岩本委員:サービス方針7 市民との協働について。ボランティア総数が指標だが、令和5年度目標が「養成講座定員分増」とあり具体的な数値が分かりにくい。

桑名参事:養成講座の定員を追記する。

久保委員:障がい者サービス利用者懇談会の対象はどんな障がいを持っておられる方か。

佐野館長:主に、視覚に障がいのある方、本を読むのに困難のある方、身体の障がいなどで図書館に来館することが困難な方を対象としたサービスを利用されている方になる。

4 報告事項

(1) 「令和6年度(2024年度)吹田市立図書館の目標」について

(事務局説明)

(質疑応答なし)

(2) 「令和6年度当初予算」について

(事務局説明)

岩本委員:図書館運営事業の備品購入費が前年度とほぼ同じということだが、本の価格がすごく値上がりしており購入できる冊数は減っているのではないか。来年度以降も予算をもっと獲得できるよう頑張ってください。

(3) 吹田市立図書館の報告事項について

「見て、聴いて、さわって、楽しむ読書の世界 in すいた」について

佐野館長:昨年度に引き続き、8月18日に千里山・佐井寺図書館にて、「見て、聴いて、さわって、楽しむ読書の世界 in すいた」を開催する。たくさんの企画でバリアフリー読書を多くの方に楽しんでいただけるよう準備を進めている。

「夏休みの子供向け取組について」

迫田館長:夏休みにあわせておすすめ本を紹介したパンフレット「もうよんだかな?」「てくてく」を今年度も作成し、各図書館で特設コーナーを設置している。市立小・中学校の全児童・生徒には1枚もののちらしにしたものを学校を通じて配布している。「てくてく」の後半ページは、中・高校生世代から募集した編集委員によるもの。その他、夏休み期間には、「宿題タスケルンジャー」として調べもの相談に対応する取組を今年度も実施している。

「千里山・佐井寺図書館修繕工事による休館の予定について」

佐野館長:千里山・佐井寺図書館では、今年度、修繕工事のため、1か月休館を予定している。現時点では休館は11月の予定。休館期間中に、予約本の受取りができる臨時窓口を設置する方向で、現在、協議をすすめている。

(4) 吹田市立北千里図書館(まちなかりビング北千里)令和5年度事業報告について

栗田館長:先ず図書館イベントについて。「まちきたおたんじょう会」は、毎月第3火曜日、未就学児と親を対象に季節の絵本やおすすめの絵本などを紹介している。毎回数組から十数組の参加で、令和5年度は延べ76組の親子の参加があった。親子で絵本に親しみきっかけをつくり、図書館や本のある環境を身近に感じてもらう機会にしている。また、子育てを通した仲間づくりや親子同士でつながりを作る機会にもなっている。

次に複合施設のイベントについて。まちなかりビング北千里では複合施設の特長を生かし図書館、公民館、児童センターの利用者に参加しやすいイベントを心がけている。また、年2回の大型イベントは「まちきた子どもフェスタ」「まちきたオータムフェスタ2023」と名付け地元の大学や団体にご協力いただき、多くの方でにぎわった。イベント実施時に会場内に関連本の展示を行い図書や図書館の利用につなげている。

最後に来館者数について。令和5年度は開館2年目にあたり、施設全体の月平均来館者は初年度から横ばいである。週末や休日を中心に施設全体の利用、図書館利用ともに多くの方にご利用いただいている。令和5年度の運営の検証を行い、引き続き皆様にご満足いただける運営に努める。

5 その他

(1) 次回日程について

(事務局説明)

(2)その他

岩本委員:吹田市立図書館のメールマガジンに関して議会で問題になったことについて。図書館ではこの件に関してどんな対応がされたのか、図書館内でどのような検討がされたのか知りたい。「図書館の自由に関する宣言」でうたっていることに関係するのではないか。若い図書館職員は「図書館の自由に関する宣言」を具体的には理解していないのではと思うので、図書館内での研修で取り上げてもらいたい。

飯田委員:吹田事件のことも図書館のメールマガジンのことも知らないなので、説明していただきたい。

大平館長:吹田事件に関する資料を紹介したメールマガジンの記事について。記事の内容が誤解を招く表現ではないかという質問を議会で受けた。記事内容を確認した結果、それまで市が公表してきた吹田事件に関して紹介されていた文章と整合性がとれていないということが分かったため、修正作業を行った。対応に関しては、図書館長事務連絡会で報告をした。図書館の自由に関する宣言については、重要なテーマでもあるので研修プログラムに取り入れていきたい。

岩本委員:メールマガジンの記載内容に関しては議員からの質問を受ける前の文章に戻すほうが良いのではないかと考えているので、引き続き検討していただきたい。

大平館長:記事の修正については、現在の記事の内容は吹田市が公表してきた吹田市史、博物館の発行物等の内容を確認して書いたものであるため、修正は考えていない。

岩本委員:現在修正する考えがなくても、引き続き考えていってほしい。